

こども子育て複合施設整備事業
優先交渉権者の決定

令和8年5月1日

大阪狭山市

「こども子育て複合施設整備事業」優先交渉権者の決定について

「こども子育て複合施設整備事業」の実施にあたり、一般公募型提案方式による公募を実施いたしました。本件に関し、選定委員会より審査総評および最優秀提案者の選定報告を受けましたので、本市において、以下のとおり優先交渉権者を決定いたしました。

今後、当該事業者と誠実に協議を進め、本事業の円滑な推進を図ってまいります。

1. 優先交渉権者

企業体名 岩田地崎・木谷・安井建築設計共同企業体

令和8年5月1日
大阪狭山市長 古川 照人

こども子育て複合施設整備事業
審査結果及び審査総評

令和8年4月20日

大阪狭山市公の施設の整備等事業者選定委員会
(こども子育て複合施設整備事業)

こども子育て複合施設整備事業 審査結果及び審査総評

先般実施した一般公募型提案方式（以下「本公募」という）による「こども子育て複合施設整備事業（以下「本事業」という。）」に関して、公募の公告時（令和7年11月4日公告）において公表した「こども子育て複合施設整備事業審査基準（以下「審査基準」という。）」に基づき、提案内容等の審査を行ったので、審査結果及び審査総評をここに報告する。

令和8年4月20日

大阪狭山市公の施設の整備等事業者選定委員会（こども子育て複合施設整備事業）

委員長 辻 壽一

1. 事業者選定方式

大阪狭山市（以下「市」という。）が本事業を実施する事業者を本公募で募集し、事業者の選定にあたっては、審査基準に基づき、一次審査及び二次審査の二段階方式で審査を実施した。

2. 選定委員会

事業者の選定にあたって、本公募の技術提案書の最優秀提案を選定するために設けられた、大阪狭山市公の施設の整備等事業者選定委員会（こども子育て複合施設整備事業）（以下「選定委員会」という。）の選定委員は次のとおりである。

辻 壽一	大阪公立大学大学院 生活科学研究科 客員教授
清水 陽子	関西学院大学 建築学部 教授
江川 直樹	関西大学名誉教授
忽那 裕樹	(株)E-DESIGN 代表取締役
井戸 淑乃	公認会計士・税理士
地下 まゆみ	大阪大谷大学 教育学部 教授
市立第三中学校校長	小中学校校長代表
大阪狭山市こども政策部長	
大阪狭山市立こども園園長	

3. 審査結果

(1) 一次審査

本事業には、4グループから参加表明があった。

市は、提出された応募資格に関する資料を「実施要領書 第3章」に基づき審査し、4グループが参加資格を有していることを確認した。

なお、参加者名を伏せて審査を行うため、4グループにはそれぞれ次のグループ名を付与した。

- ① あじさいグループ
- ② もみじグループ
- ③ つつじグループ
- ④ さくらグループ

(2) 二次審査

技術提案書と、そのプレゼンテーション及びヒアリングを受け、一次選定者の提案内容に対し、審査項目・配点に応じて得点を付与した。

なお、得点の計算にあたり、小数点以下がある場合は、第3位を四捨五入している。

審査項目	配点	各項目点 (委員平均点)			
		あじ さい	もみ じ	つつ じ	さく ら
①業務計画に関する提案書	計 10				
・業務に適した実施方針、実施体制となっているか	5	1.81	3.06	1.25	2.78
・事業の全体像を把握した事業工程の新たな検討結果や提案があるか	5	3.19	1.94	1.94	1.94
②施設設計に関する提案書	計 45				
②-1 施設全体設計					
・建物のデザインだけでなく、オープンスペースや内部と外部を繋ぐ空間デザインや仕上げ等、こどもの感性を高め記憶に残り、運営理念やコンセプトを体現するデザインとなっているか。	15	8.75	12.08	3.75	9.17
・遊び・学習・体験活動等において多様な学びを保证する十分な設備や遊具、空間を確保した建物や屋外空間が計画されているか	5	2.78	3.47	1.39	2.92
・年齢別・発達段階別に対応する空間設計、室内の可変性が配慮されているか	5	2.50	2.92	1.39	2.50
・複数の行政目的を果たす複合施設として、利用者の利便性の向上や効率的な施設運営など、その効果（メリット）を最大限発揮する設計となっているか	5	1.81	3.19	1.25	2.22
・南第一小学校の小運動場の活用方法など、幼こ小の連動した運営や連続した教育カリキュラムの実践、地域に開かれた園運営等、本施設のコンセプトに沿った空間整備となっているか	5	1.67	1.94	1.39	2.22
②-2 その他の施設設計					
・災害・防犯・事故防止等利用者の安全に配慮した計画となっているか	5	2.50	3.19	1.39	2.50
・子育て支援・相談機能の充実や子育て家庭の交流促進、多様な子育てニーズへの対応に配慮されているか	5	1.94	2.92	1.53	2.36
③施工計画に関する提案書	計 10				
・施工中の安全確保に配慮した仮設計画、工事工程となっているか	5	3.33	3.47	1.94	2.22
・適正な品質管理・品質向上のための配慮事項が示されているか	5	1.81	2.36	2.08	2.64
④地域貢献（※）に関する提案書					
・大阪狭山市内に本社、本店、あるいは営業所を置く企業との協働や、その他地域に貢献する方策が示されているか	5	3.75	5.00	3.75	1.25
⑤環境配慮に関する提案書					
・設計・施工における環境配慮がなされているか	5	2.64	3.33	1.94	2.50
⑥コスト・経済性に関する提案書					
・ライフサイクルコストの低減が配慮されているか	5	1.81	2.22	1.67	1.67
⑦事業者の独自性に関する提案書					
・①～⑥の他に、独自の技術や独創性のある提案がされているか	10	3.61	4.17	3.06	5.28
⑧提案価格見積					
・見積価格が妥当であるか	20	18.67	18.67	20.00	18.69
⑨加算項目点	計 20				
・諸室の要求性能に加え、期待性能も実現されているか	10	7.64	7.36	10.00	4.74
・予算内での解体設計・解体工事に配慮されているか	10	0.00	10.00	10.00	10.00
合計	130	70.20	91.31	69.72	77.60

(3) 最優秀提案の選定

最優秀提案の選定は、「審査項目の評価点」が最大となった提案を最優秀提案として選定委員会で選定した。

	配点	あじさい	もみじ	つつじ	さくら
審査項目の評価点 (委員平均点)	130点	70.20点	91.31点	69.72点	77.60点

以上の審査結果により、「もみじグループ」を最優秀提案者、「さくらグループ」を次点として選定した。

(4) 優先交渉権者の決定

優先交渉権者の選定については、選定委員会が選定した最優秀提案を提案した参加者を市が優先交渉権者として選定した。

【優先交渉権者】

グループ名 もみじ
企業体名 岩田地崎・木谷・安井建築設計共同企業体

【次点】

グループ名 さくら
企業体名 イチケン・三弘建築事務所共同企業体

4. 審査総評

この事業は、3つの市立幼稚園とこども園を再編・統合し、さらに子育て支援センターとも連携する「子育ての複合施設」を整備するものです。子どもは未来を創造する源であり、本事業は、未来を生きる子どもたちへの大切な「贈り物」であると考えています。

審査の結果、優先交渉権者には「もみじグループ（岩田地崎・木谷・安井建築設計共同企業体）」を選定いたしました。

もみじグループの提案は、施設の平面計画において、子どもの見守りに欠かせない視認性を高く保ち、明快な動線を確保している点が大きな特徴です。1階では、こども園と子育て支援センターを共通の諸室で緩やかに仕切ることで、それぞれの機能をうまく分離させています。その一方で、2階では両者を遊戯室でつなげることも可能となっており、空間の多様な使い方が期待できます。

また、通風に配慮した特徴的な三角屋根や、2階の廊下とバルコニーを連続させた回遊性のある設計は、子どもたちの遊び場となるだけでなく、緊急時の避難機能も兼ね備えています。建物外部では、調理室への搬入経路を適切に確保しているほか、敷地北側からの視線を意識した色彩豊かな外壁のデザインも評価されました。

なお、子どものための施設として、内部の仕上げや空調方式、また2階への配膳方法などについては、より良い形を目指して今後さらに詳細な検討が必要と思われます。

次点となった「さくらグループ（イチケン・三弘建築事務所共同企業体）」の提案は、地域コミュニティの形成を非常に重視した内容でした。

着工前のアートイベントや環境教育の実施、地域住民が旧校舎への想いを表現する「さよならアートフェスタ」の開催、そして家庭で育てた苗木を持ち寄る「エディブルガーデン」の運営など、地域のつながりを深めるためのユニークな提案には一定の評価が集まりました。施設計画も明快であり、雨天でも活用できる2階の園庭も評価されましたが、食材の搬入経路や保育室の配置に一部課題が見受けられました。

今後、優先交渉権者となったグループには、施設に携わる職員をはじめ、様々な立場の方々との対話を通して、地域に長く愛される施設の実現を期待します。

なお、今回の事業提案がそのままの形で完成するわけではありません。これからの基本設計・実施設設計を通じて、関係者や地域の皆様に親しまれ、とりわけ子どもたちにとって「記憶に残る楽しい生活の場」が生まれることを心より願っています。

最後に、今回参加いただいたすべての事業者の皆様が、提案書の作成に多大な時間と惜しみない努力を注いでくださったことに、深く感謝申し上げます。

【外観パース】



【内観パース】



